

国内株式および国内債券市場 2020年1月～3月

運用先市場の状況

作成基準日 2020年3月31日

○国内市場

・株式市場

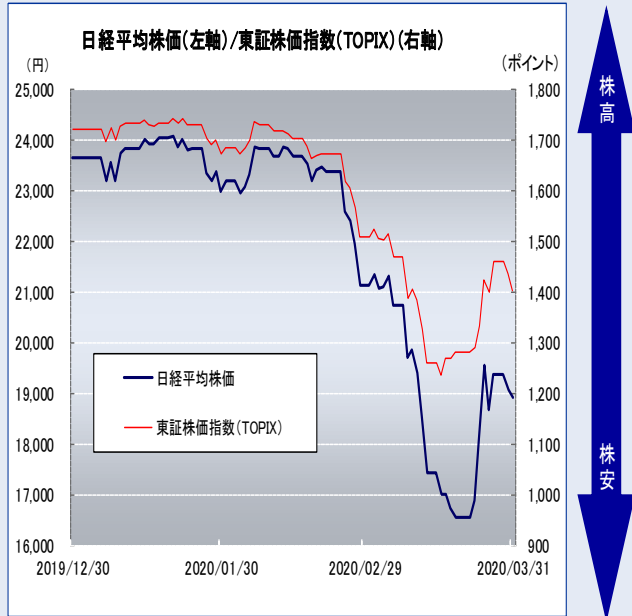
【コメント】

国内株式は大幅に下落しました。

1月は、米国・イランの対立による中東情勢の緊迫化を受けて下落して始まり、その後米国株式市場の上昇に連れて持ち直していましたが、下旬には新型コロナウイルスの感染拡大を警戒する見方が拡がり下落しました。

2月は、国内企業の19年10-12月期決算が低調であったことなどから軟調に始まったものの、中国が米国から輸入する一部製品の関税引き下げを発表したことなどから上昇しました。しかし同四半期GDP(国内総生産)が前期比で急減したこと、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大などから大幅に下落しました。

3月に入ってから、国内株式は大幅下落となりました。下旬には日銀によるETF(上場投資信託)買入れ増額による需給改善期待、米国の大規模経済対策への期待などから反発しましたが、その後上値の重い展開となりました。



(出所) Bloombergデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

・債券市場

【コメント】

国内長期金利(10年国債利回り)はわずかに上昇しました。

1月は、中東情勢の緊迫化を背景に低下して始まり、その後は世界景気の底打ちや米中通商合意への期待を背景に上昇に転じましたが、新型コロナウイルス感染拡大への懸念が広がると月末にかけて低下しました。金融政策決定会合では金融政策の据え置きが決定されました。

2月は、中国での大規模な資金供給や金融緩和、米国での底固い経済指標などを背景に株高が進んだことで上昇しました。下旬には世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が警戒され、金利は低下基調で推移しました。

3月は、FRBが緊急利下げを実施する中、長期金利は-0.1%台後半まで一旦低下しました。しかし中旬以降は投資を縮小する動きが広がり、長期金利は急上昇しました。しかし日銀が予定外の国債買入れを積極的に実施したことで、上昇幅は縮小しました。



(出所) Bloombergデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

運営管理機関：三井住友海上火災保険株式会社 加入者専用コールセンター 0120-401-841

平日(月～金) 9:00～20:00 土日 9:00～17:00 (祝日・振替休日・年末年始等は休業させていただきます。)

■当資料は、確定拠出年金の運用指図を行うために参考となる情報の提供等を目的としたものであり、運用方法に係る勧誘等を目的とするものではありません。最終的な運用指図については、お客さまご自身の判断で行ってください。■当資料は、作成日において信頼できると判断した諸データに基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、また今後の成果を保証・約束するものではありません。■当資料の内容について、無断で使用、転用、複製することを禁じます。

まとめレポート

～運用環境振り返り編～

外国株式および外国債券、為替市場 2020年1月～3月

運用先市場の状況

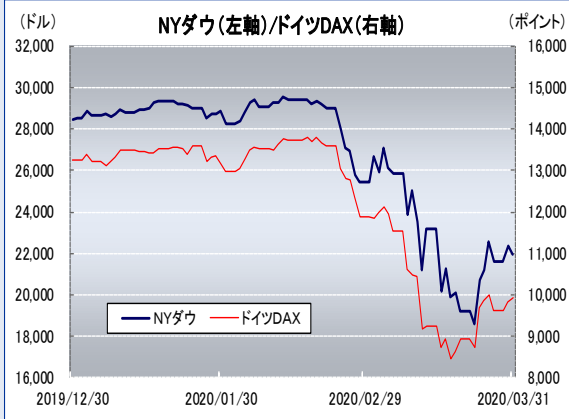
作成基準日 2020年3月31日

○外国市場

・株式市場

【コメント】

米国株式市場は大幅に下落しました。
1月は、地政学リスクに対する懸念はあったものの、米イラン、米中関係の落ち着き等から一旦史上最高値を更新しました。しかし下旬にかけては、新型コロナウイルスへの懸念から反落しました。
2月は、感染拡大でアップル社が売上見通しを引き下げるなど、实体经济や企業活動への影響が顕在化し大幅に下落しました。
3月は、FRBが緊急利下げを行いました。米国全土での感染拡大により急落しました。また、OPECとロシアなど非加盟国が追加減産交渉で決裂し、原油価格が下落したことも影響しました。
欧州市場も大幅に下落しました。1月には英国のEUからの離脱が完了しましたが大きな材料とはならず、イタリアなど各国での新型コロナウイルスによる死者数増加などが下落要因となりました。

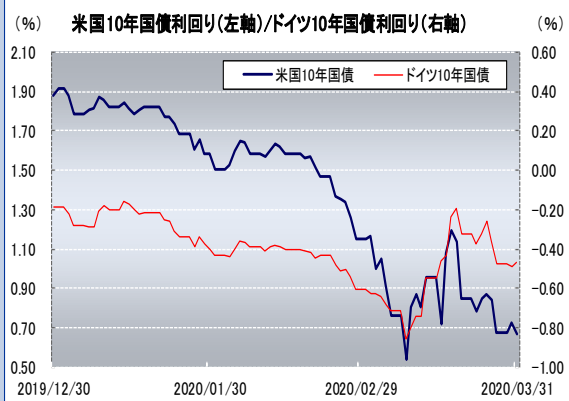


株高
株安

・債券市場

【コメント】

米国長期金利(10年国債利回り)は大幅に低下しました。
1月は、米国とイランの全面衝突リスクに対する思惑から不安定な動きでしたが、月末にかけては新型コロナウイルスへの警戒感から低下しました。
2月は、更に世界的に感染が拡大する中、リスク回避的な動きから大幅に低下しました。
3月は、月初FRBによる緊急利下げや原油価格の急落などから、金利は急低下しました。その後世界的な資産売却の動きの加速などから、一旦大幅な上昇に転じましたが、月末にかけてはFRBによる米国債等の無制限の購入策の実施などから上昇幅を縮めました。
ドイツ長期金利(10年国債利回り)は小幅に低下しました。
概ね米国と同様の動きながら、3月は金利上昇となりました。

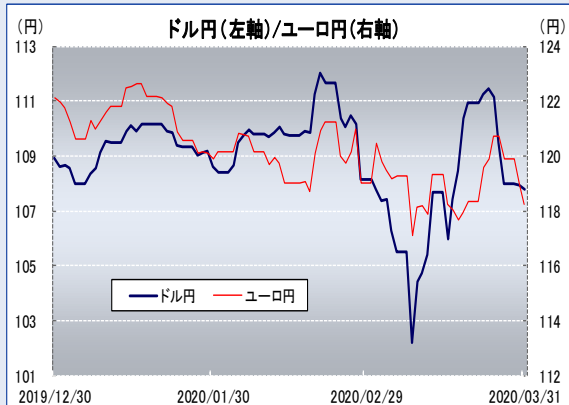


債券安
債券高

○為替市場

【コメント】

米ドル/円は小幅に円高、ユーロ/円は円高となりました。
1月は、地政学リスクの緊張→緩和の動きから円高→円安と推移していましたが、月末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大により、円高傾向で推移しました。
2月は、当初米ドルが強含みましたが、その後は、米金利の低下が進行するなかで、対円や対ユーロで米ドル安に転じました。
3月は、米ドル/円はFRBの緊急利下げを背景に大きく売られる展開となり、月末にかけては米ドル確保の動きから一転して上昇に転じました。月後半は各国中銀による米ドルの大規模供給策を受け、米ドル/円は上昇幅を縮小しました。ユーロ/円は米ドルが大きく変動する中、上下に振れながらもレンジ推移となりました。



円安
円高

運営管理機関：三井住友海上火災保険株式会社 加入者専用コールセンター 0120-401-841
平日(月～金) 9:00～20:00 土日 9:00～17:00 (祝日・振替休日・年末年始等は休業させていただきます。)

■当資料は、確定拠出年金の運用指図を行うために参考となる情報の提供等を目的としたものであり、運用方法に係る勧誘等を目的とするものではありません。最終的な運用指図については、お客さまご自身の判断で行ってください。■当資料は、作成日において信頼できると判断した諸データに基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、また今後の成果を保証・約束するものではありません。■当資料の内容について、無断で使用、転用、複製することを禁じます。